

農業構造転換集中対策を強力に推進する緊急総決起大会について

《主催者挨拶》

【森山裕 食料安全保障強化本部長】

- 本日は大変お忙しい中お集まりいただきまして、心から感謝申し上げます。また、国会開会中、自民党所属の先生方にも多数ご出席をいただき、ありがたく思っております。
- まず冒頭、今般の農林水産大臣の発言を巡る問題で、皆様に大変なご心配ご迷惑をおかけしたことに、心からお詫びを申し上げる次第であります。
- 我が党は地域に根ざした唯一の国民政党として、所属議員 1 人 1 人が、国民の声に真摯に耳を傾け、内外の課題解決に取り組んでいかなければならないと思っております。
- 我々は引き続き、米の価格高騰に直面する国民の皆様、米作りに携わる全ての生産者の皆様の気持ちに寄り添いながら、米の流通・安定化に全力で取り組んでまいる決意であります。
- 今般、ご承知の通り、世界的な人口増加や気候変動などによって、農林水産業を取り巻く環境は大きく変化しています。
- また、国内では今後 20 年間で農業者が 90 万人近く減少することが予測されるなど、農業の担い手不足も深刻な問題であります。
- こうした中で、持続可能な農業と食料の安定供給を実現し、我が国の食料安全保障を確保していくことは、国民にとって極めて重要なこととなります。
- 食料安全保障について、自民党では、令和 4 年から本格的な議論をスタートいたしました。
- 昨年 11 月には、総裁直属の機関として、食料安全保障強化本部を設置するなど、これまで 80 回を超える会議で、延べ 1,350 名衆議院、参議院の先生方にご参加をいただき、まさに党を挙げてしっかりと議論を積み上げてまいりました。
- 昨年、食料・農業・農村基本法が改正をされ、今後 5 年間で集中的に施策を実行し、農業の構造転換を図っていく方針が掲げられました。
- まず、この 5 年間を加速化の 5 年間と定め、予算をしっかりと組んで改革を進めていくことが大事なことだと思っております。
- 先月 11 日には、新たな食料・農業・農村基本計画の閣議決定を受け、その実効性を確保することに向けて、党としての決議を取りまとめ、総理に申し入れを行いました。
- 基本計画は作って終わりの計画ではありません。しっかりと実効性のあるものにしていかなければ意味がありません。
- まず、初動の 5 年間で、農地の大区画化や共同利用施設の再編・集約化、スマート農業の加速化、輸出の促進など、必要な施策を強力に推し進め、農業の収益力を基本的に向上させていくことが、重要だと思っております。

- 今、米の価格に国民の関心が集まっています。米は、大区画化した区画で作ると、コストがこんなに下がるのかと、びっくりするぐらいコストが下がります。
- そうすると、米をしっかり作っていただいて、国内で消費できない米を輸出する戦略が立てられると思っています。
- これまで、主食米の価格を安定させるために、政府も非常に苦勞してきました。飼料用米を作っていただいたり、米粉米を作っていただいたり、いろんな政策をとってきました。
- しかし、主食用米と同じ所得を上げていただくためには、どうしても特別に補助しなければならないというのが実態であります。その予算が年間 3,000 億円ぐらいかかっています。
- その 3,000 億を今後続けていくことは無理なことであります。競争力のある農業するために、土地改良が必要であるということをぜひ分かっていたきたいと思います。
- それは農家のためだけではありません。そうすることによって、農産物の価格を安定的に今よりも下げることが可能になります。米について、そういうことであります。そういう新しい農業を作っていくということが大事なことだというふうに思っております。
- 輸出も促進させなければなりませんし、そのための施策も強力に進めていくということが大事なことだと思います。
- また、農業の収益力を抜本的に向上させていくことが重要だと思っています。
- そのためには、既存の農業予算だけではなくて、別枠の予算の確保が不可欠であります。
- 党の決議にも、5 年間で集中的に施策を推し進めるために、既存の予算とは別枠で、思い切った規模の予算を確保すべきと明記いたしました。
- 農林予算の数字を見ますと、当初予算が一番多かったのは、昭和 57 年で 3 兆 7,010 億円でありました。一方、昨年度の当初予算では、2 兆 2,686 円となっているのが現状であります。
- 日本の農業はこれから間違いなく変わっていかなければなりません。だからこそ初動の 5 年間で極めて重要なのであります。農業の構造転換に必要なことは何かをみんなで考え、現場の声に耳を傾けながら、必要な事業量を積み上げた上で、それをしっかりと実行できる別枠の予算を確保していかなければなりません。
- 本日は関係団体の皆様からも、忌憚のないご意見を伺えればと思っています。そしてその上で、必要な事業規模を取りまとめ、改めて総理に申し入れをしたいと考えています。
- 農業は国の基であります。農家の方たち、次の世代にしっかりした農業を残すことができると言っていただけのように、政府与党一体となって、強い決意を持って取り組んでまいりたいと考えております。

- 皆様方のご理解とお力添えを何卒よろしくお願い申し上げ、日本において、食料安全保障が確実に確立できることを、皆様と一緒に頑張ってまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。重ねて、本日もご出席に感謝申し上げます、ご挨拶といたします。

【宮下一郎 総合農林政策調査会長】

- 本日は、多くの国会議員の皆様、そして全国から関係団体の皆様にご参集いただいて、この大会が盛大に開催できますことを、厚く御礼を申し上げます。
- 上月部会長と森山本部長より、この大会の趣旨、そして別枠予算の必要性を述べていただきました。重複は避けましても、まさに私からも、今農業は大転換期にあり、転換すれば、大きな明るい未来が拓けることをぜひ皆お伝えをしたいと思います。
- これまで予算は限られた中で、工夫をしながら、皆様のお力で農業政策を前に進めてきました。
- しかしながら、ここにいたっては、これだけ世界の安全保障環境が激変、いつ食料輸入が不安定化するかわからない、そして地球温暖化等々の影響もあり、何より人口減少を乗り越えなければいけない状況におかれています。
- このときに、抜本的に農業を元気にする集中的な運動期間を設けなければいけないことを強く考え、先輩方とともに、この5年間で農業構造転換集中対策期間にし、それを支える予算を全く別枠で取らなければいけないことで、これまで運動を進めてまいりました。
- 今、その成果を実際に取りに行くときであります。党本部だけでは実現できません。何より大切なのは、この状況を全国の皆様にお伝えいただいて、そしてこの農業を大きく転換させるためには、しっかりした予算も必要なんだという機運を高めていただきたいということでもあります。
- 土地改良も予算の制約があって、小規模なものは諦めてくださいという話もあったかと思います。前向きに地域計画をさらにブラッシュアップしていただいて、こういう夢があるんだ、こういう土地改良やりたいんだということを積み上げ、それを実現する新しい技術を導入して、生産性を上げて、収益力を上げられるようなプランを、ぜひ皆様でお持ちいただきたいと思います。それに応える予算が必要だと思います。
- スマート農機も全国に導入をしなければいけませんし、サービス事業体も育成しなければいけません。
- 輸出の産地もしっかり育成をして、それにかかる物流施設も必要です。そして、全国で老朽化する集出荷施設・共同利用施設も抜本的に効率化し、IT化し、生産性を上げ、そうした新しいみんなが使える施設を実現するためにも、予算が必要であります。

- 前向きに農業を進めるために、我々が頑張るそういうお声を、ぜひ全国から上げていただきたいということを強く申し上げます。
- 皆様のお声やご質問をふまえ、また特に今日は団体の皆様のお声も伺うわけですが、それを踏まえてしっかり予算を積み上げ、そして改めて、政府に申し入れに行き、皆様とともに予算を確保したいと思えます。
- これから未来に夢が持てる農業の実現のために、大変重要な5年間は始まります。今日がその契機のとときであります。
- 皆様とともに農業を前に、希望ある産業としてさらに大発展させるために、ともに頑張りたいと思えます。皆様お力をお貸してください。よろしくお願い致します。

《団体挨拶》※全土連は省略

【山野徹 全国農業協同組合中央会会長】

- JAグループを代表し、私からも一言ご挨拶を申し上げます。
- まずもって、自民党におかれましては、幹部の先生方をはじめ、大変多くの先生方、関係団体が一堂に会し、今回このような場をもっていただきましたことに、心より感謝申し上げます。
- さて、生産現場は、今、危機的な状況にあります。生産コストの高騰・高止まりに加え、農産物の価格転嫁が思うようにすすまず、農業者数の急減、農地面積の減少が続いております。
- 一方で、食料の安定供給にとって、極めて重要な役割を担っておりますカントリーエレベーターや選果場など、共同利用施設の老朽化が全国的に大きな課題となっております。
- そのような中でも、我が国の食料安全保障を将来にわたって確保していくため、基本法の改正、新たな基本計画の策定が、自民党の先生方のご尽力により実現してきました。
- それらの実効性を確保するためには、初動5年間の構造転換を中心に、その実践の取り組みを、強力かつ着実に推進する、予算総額の増額が不可欠であります。
- そのため、JAグループでは、先日、令和7年度の政策提案を決定し、120名を超える与党の先生方のご臨席のもと、政策推進全国大会を開催させていただきました。
- また、江藤農林水産大臣、加藤財務大臣に、要請させていただいた他、各県のJAグループ組織においても、地元選出の先生方とともに、財務省に直接要請する等の重層的な要請活動を展開してまいりました。
- JAグループは、政府・与党と力をあわせ、引き続き、改正基本法・基本計画の実効性を確保に向けて、JAグループの総力を挙げて、取り組んでまいります。

- 我々の取り組みを後押しいただき、危機的な状況にある生産現場が前を向き、安心して営農を続けられるよう、既存の農林水産関係予算とは別枠で、兆円単位の思い切った額の予算を確保するという力強いメッセージを、先生方からいただきたいと切に願うところであります。
- その実現に向けて、ご参加の先生方、さらには、関係団体と一体となって、引き続き、しっかりと取り組んでいくことをお誓い申し上げ、私からのご挨拶といたします。ありがとうございました。

(山野会長 団体挨拶の様子)



《ガンバローコール》

【宮崎雅夫 参議院議員】

- 参議院議員の宮崎雅夫でございます。我が国の食料安全保障を強化し、そして地方創生のためにも、農業の構造転換をして、発展をさせていく必要があります。
- そして、農は国の基になります。既存の予算とは別枠での思い切った額の予算を確保し、我が国の農業構造、集中して強力に転換をしていくため、皆様頑張ってコールやります。お願いします。一致団結して頑張ろう。

以 上